巻頭論文

# 21世紀の交通事業への取り組み

宗行満男*　金田順一郎**

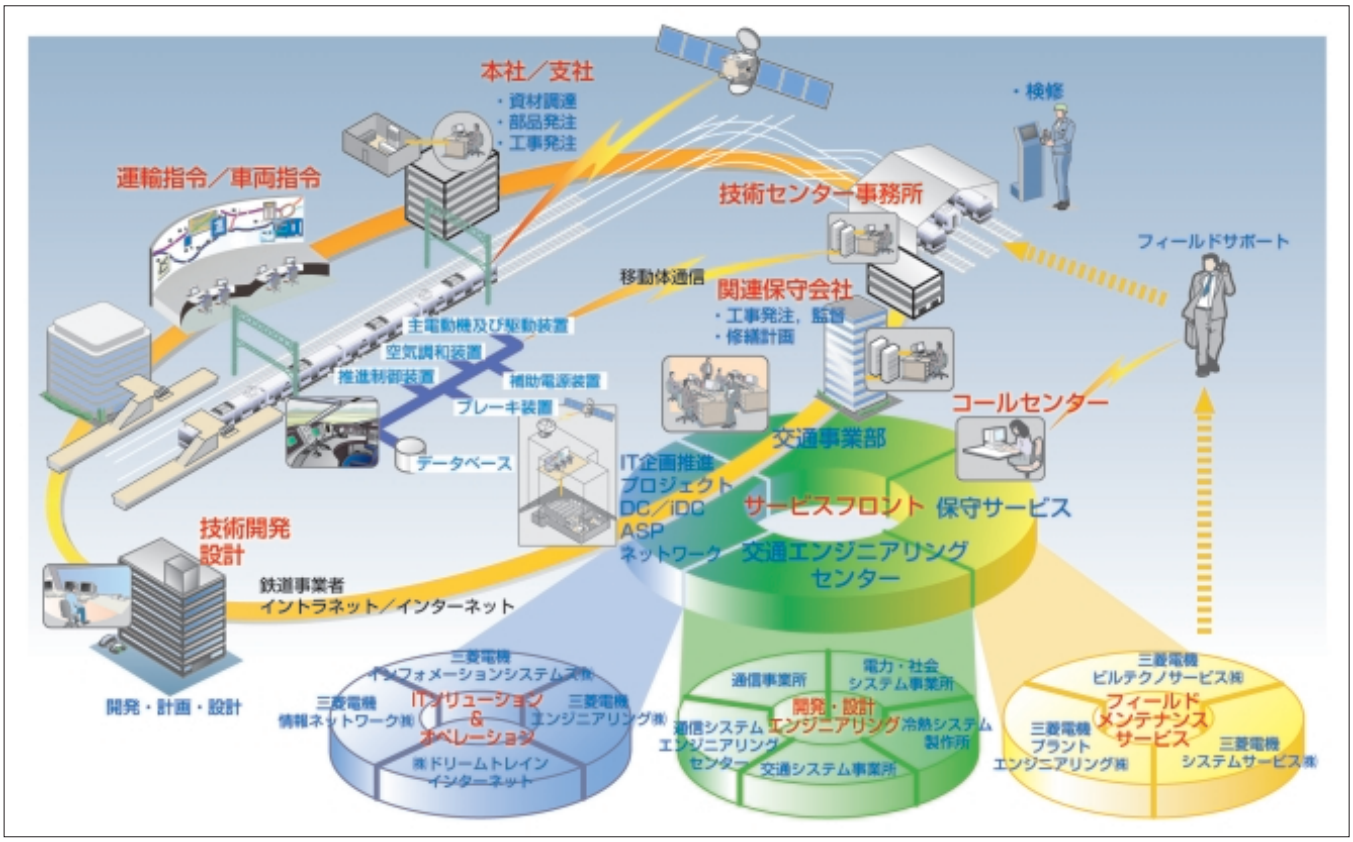

**要　旨**

20世紀における鉄道の歴史で日本が果した役割は大きく，世界の鉄道技術を牽引(けんいん)した時代と言える。すなわち，速く，時間に正確で，大量輸送を実現してきた。21世紀に入り鉄道に求められる役割は，より速く，より快適に，より環境に優しく，より人に優しくと，社会のインフラとして欠くことのできないものとなると同時に，人の移動に対して，新たに省エネルギーの要求や環境への取り組みが求められるようになった。

三菱電機は，これらの要求にこたえるため，モビリティの基本から更なる次元へと“Better Mobility”を当社交通事業のスローガンとしている。高度な社会的要求を実現するため，より安全で高速・快適な安定輸送を実現することが鉄道事業者としての使命となり，鉄道利用者個々の移動に対して的確なサービスを提供することが重要な課題となってきた。このような要求に対して，当社は，モビリティを実現する確かな基本性能と高い品質の製品を提供すると同時に，鉄道利用者へのシームレスな移動サービスを実現するソリューションを提供し，更なるモビリティを実現したいと考えている。

高品質な製品の提供と様々なシステムが融合した統合的なプロジェクトへの対応力を強化するため，昨年10月から，鉄道関連の製品製造やシステムインテグレーションを担当する部門を交通システム事業所に統合し，製品のコンセプトの同質化を推進している。車両用電機品では，推進装置から車両情報装置，ブレーキ，空調と総合的な製品ラインアップを持ち，製造の根幹をなす機能と品質の確保のために，開発・設計・製造・試験の各プロセスでの革新を継続しており，世界基準の物作りを目指している。

また，国内外案件に対応するエンジニアリング集団を結集した交通エンジニアリングセンターの設置により，新線鉄道建設プロジェクトやリニューアル工事におけるシステム計画，プロジェクトの管理遂行，保守運営管理を行う。これからも三菱電機グループの総合力を結集し，お客様のご要望におこたえしていきたいと考えている。


**次世代交通事業への対応**

お客様のITネットワークの構築に協力し，商取引や設備情報をITネットワークで三菱電機グループとシステム連携を図り，営業，エンジニアリング，ITサービスから保守サービス及び総合的なサポートサービスを提供する体制を整え，お客様との密接で迅速な対応を行うため次世代交通事業への総合的な取り組みを行う。

*交通事業部長　**交通システム事業所長